

# 平成29年度 第47期業務・事業報告書

平成29年4月1日～平成30年3月31日

一般社団法人 全日本釣り団体協議会は、定款及び平成29年度事業計画に基づき、下記のとおり事業を実施した。

## 記

### 1. 平成30年6月27日現在の実勢

正会員数	35団体
賛助会員数	25団体
構成員総数	約30,000名
役員数	理事 12名(会長理事1名、副会長理事1名、専務理事3名、常務理事2名)
	監事 2名

### 2. 法人活動状況

#### (1)総会

平成29年度第47回定時社員総会

日 時	平成29年6月27日(火) 11時00分から
場 所	東京都千代田区九段北4-2-25アルカディア市ヶ谷(私学会館)
出席状況	議決権総数 39個 出席19名 委任状16名 欠席4名
主な議題	平成29年度業務・事業報告及び決算報告の件 平成30年度事業計画及び収支予算の件 会費賦課額の件

#### (2)理事会

##### ①第1回通常理事会(書面表決開催)

日 時	平成29年6月9日(金)
書面表決	議決権総数 14個 賛成表決書提出 14名
監事承認	監事2名 賛成表決書提出 2名
主な議題	平成28年度業務・事業報告書及び決算書の件 平成29年度正会員入会団体承認の件

##### ②第2回通常理事会

日 時	平成29年10月13日(金)
場 所	新大阪丸ビル本館4F 410号室
出席状況	議決総数 14個 出席 12名 欠席 2名 監事出席 2名
主な議題	矢口高雄氏デザイン「釣りキチ三平イラスト」の活用について 第3回通常理事会及び平成30年度総会日程と役員改選について 会費の入金状況及び会費未納となっている正会員の扱いについて インストラクター講習会等の課題について

### ③第3回通常理事会

日 時 平成30年3月30日(金)  
場 所 自民党本部5F 第3ブロック会議室  
出席状況 議決総数 14個 出席 10名 欠席 4名 監事出席 1名  
主な議題 平成30年度の事業計画(案)について  
平成30年度の収支予算(案)について  
平成30年度の役員改選について  
平成30年度正会員費・賛助会員費について

### (3)水産庁政策審議会及び関係団体との意見交換会等

#### ①水産政策審議会への参加

・第70回企画部会	:平成29年4月6日	会場:農林水産省会議室
・第82回資源管理分科会	:平成29年4月6日	会場:農林水産省会議室
・第21回総会	:平成29年4月14日	会場:農林水産省会議室
・第71回企画部会合同会議	:平成29年4月14日	会場:農林水産省会議室
・第72回企画部会	:平成29年5月30日	会場:農林水産省会議室
・第83回資源管理分科会	:平成29年5月30日	会場:農林水産省会議室
・第73回企画部会	:平成29年8月30日	会場:農林水産省会議室
・第84回資源管理分科会	:平成29年8月30日	会場:農林水産省会議室
・企画部会現地調査	:平成29年11月16・17日	会場:佐賀県、長崎県
・第74回企画部会	:平成29年11月29日	会場:農林水産省会議室
・第85回資源管理分科会	:平成29年11月29日	会場:農林水産省会議室
・第86回資源管理分科会	:平成29年12月12日	会場:コープビル第3会議室
・第75回企画部会	:平成30年2月26日	会場:農林水産省会議室
・第87回資源管理分科会	:平成30年2月27日	会場:農林水産省会議室
・第76回企画部会	:平成30年4月10日	会場:農林水産省会議室

#### ②海面遊漁意見交換会

##### 第1回平成29年度海面遊漁意見交換会

平成29年7月14日(金) (会場)日本フィッシング会館7階会議室

##### 【参加団体】

水産庁漁業調整課沿岸・遊漁室、農林水産政策研究所、(一社)全日本釣り団体協議会、  
(公財)日本釣振興会、東京湾遊漁船業協同組合、JGFA、(一社)日本マリン事業協会

##### 第2回平成29年度海面遊漁意見交換会

平成30年3月26日(月) (会場)日本フィッシング会館8階会議室

##### 【参加団体】

水産庁漁業調整課沿岸・遊漁室、(一社)全日本釣り団体協議会、(公財)日本釣振興会、  
(一社)日本マリン事業協会、東京湾遊漁船業協同組合、JGFA

#### ③第10回内水面における釣りと漁業の情報交換会

平成29年8月31日 (会場)水産庁漁政部第2会議室

##### 【参加団体】

水産庁:資源管理部漁業調整課、栽培養殖課、(一社)全日本釣り団体協議会、  
(公財)日本釣振興会、全国内水面漁業協同組合連合会

④内水面の環境保全と遊漁振興に関する研究成果検討会

平成30年3月15日(木) (会場)農林水産省7階講堂

【参加団体】

都道府県水産主務課、漁場管理委員会、水産試験場、都道府県内水面漁連等  
(一社)全日本釣り団体協議会、(一社)日本釣用品工業会、(公財)日本釣振興会、  
日本釣りジャーナリスト協議会、各遊漁関係団体

⑤「新たな水産基本計画」の説明会

・(関東・東海・北陸ブロック)

平成29年5月22日(月) (東京会場)TKP ガーデンシティ永田町

【参加団体】

(一社)全日本釣り団体協議会、各遊漁関係団体 約 200 名

・(北海道・東北ブロック)

平成29年5月24日(水) (宮城会場)仙台 TKP ガーデンシティ

【参加団体】

(一社)全日本釣り団体協議会、各遊漁関係団体

⑥「水産分野における産業管理外来種に関する関係者との意見交換会」

平成29年4月26日(水) (会場)新橋航空会館 2階 201 会議室

【参加団体】

(一社)全日本釣り団体協議会、各遊漁関係団体等

⑦遊漁・海面利用担当者と釣り関係団体との意見交換会

・(関東・東海ブロック)

平成29年10月11日(水) (会場)水産庁中央会議室

【参加団体】

水産庁資源管理部漁業調整課沿岸・遊漁室、漁業調整課内水面利用調整班、  
海上保安庁交通部安全対策課漁船・遊漁安全対策係

第三管区海上保安本部交通部安全対策課安全対策第二係

(一社)全日本釣り団体協議会、(公財)日本釣振興会、東京湾遊漁船業協同組合  
JGFA、(一社)日本マリン事業協会、

・(近畿・中国・四国ブロック)

平成29年11月2日(木) (会場)滋賀県大津合同庁舎 7A会議室

【参加団体】

水産庁資源管理部漁業調整課沿岸・遊漁室、第五管区海上保安本部交通部安全対策課

(一社)全日本釣り団体協議会、各遊漁関係団体等

・〔北海道、東北ブロック〕

平成29年10月25日(水) (会場)秋田地方総合庁舎6F 606会議室

【参加団体】

水産庁資源管理部漁業調整課沿岸・遊漁室、各県の遊漁・海面利用担当者

海上保安庁、(一社)全日本釣り団体協議会、各遊漁関係団体等

⑧第60回全国内水面漁業振興大会に役員参加

平成29年10月18日(水) (会場)秋田県秋田市「アトリオン音楽ホール」

#### (4) 会員団体の行事に参加等

①全関西磯釣連盟の「創立 60 周年記念懇親会」への役員参加  
平成30年2月18日 (会場)ホテルグランビア大阪

②徳島県釣り団体協議会(徳島県釣連盟)  
「創立70周年記念特集号」への記念メッセージを寄稿

### 3. 事業活動

#### (1) 遊漁安全確保推進事業

水産庁の補助事業で、遊漁船業者と遊漁船を利用する遊漁者等の安全確保および漁場の安定的な利用関係を確保する事を目的に行った。

遊漁船業者等の安全意識等の向上を図り、釣り人に対しては安全及びルール・マナーなど遊漁に関する規則等の遵守を釣り場や各種イベントにおいて指導を行うものである。

事業の実施にあたっては、検討委員会を開催して実施計画を立て、安全講習会の開催と当協議会に所属する釣り指導員等の派遣を行った。

##### ①遊漁安全講習会等検討委員会の開催実績

・遊漁安全講習会等検討委員会 委員名簿

所属団体	役職	氏名
全国漁業協同組合連合会	漁政部長	若林 満
日本漁船保険組合	保険業務部長	吹上 圭一
東京湾遊漁船業協同組合	理事長	飯島 正宏
神奈川県釣船業協同組合	理事長	黒川 忠雄
釣り文化協会	会長	來田 仁成
日本バスクラブ	副会長	綿井 良隆
JOFI岩手	会長	千葉 康則

検討委員会は2回開催した。

学識経験者から選任された委員と開催状況等について協議を行った。

##### ・遊漁船安全講習会等検討委員会の開催内容

日時	開催場所	検討事項	出席委員数	備考
第 1 回 平成29年 6月30日	アルカディア 市ヶ谷 会議室	・遊漁安全講習会の実施方法の検討 ・派遣指導の内容と実施方法の検討 ・遊漁船事故情報収集等の 実施方法の検討*	7人	*他団体
第 2 回 平成30年 3月14日	アルカディア 市ヶ谷 会議室	事業の総括及び事業効果の評価	7人	

第1回検討委員会を開催し遊漁業者等安全講習会の計画及び派遣指導事業の釣り指導員派遣計画について検討された。

第2回検討委員会は事業の総括がなされた。

## ②遊漁船業者等安全講習会開催実績

遊漁船業者等が利用者の安全確保と利益の保護を着実に実施するため、海事関係、漁業関係等の法令の遵守及び事故防止について、安全講習会を開催した。

共催関係者の努力・協力により、東京都・大阪府・及び京都府2地区並びに長崎県はじめ新たに島根県が参加し7県により全国11地区で開催し受講数394名を達成することができた。

平成29年度遊漁船業者等安全講習会実績表は下記のとおりである。

NO	実施日	都道府県名	開催地	参加数	講師	海上保安部署等	共催
1	H29,8,22	大阪府	泉佐野市	35	黒川	大阪海上保安監部	大阪府、大阪府海城美化安全協会
2	H29,9,19	長崎県	長崎市	51	團野	長崎海上保安部、運輸安全委員会長崎事務所	長崎県
3	H29,11,28	千葉県	館山市	30	黒川	運輸安全委員会	千葉県
4	H29,12,7	京都府	舞鶴市	54	團野	海上保安部舞鶴海上部、舞鶴税関支署	府水産事務所、京都府漁協・京都釣船協
5	H29,12,8	京都府	京丹後市	37	團野	海上保安部舞鶴海上部、舞鶴税関支署	府水産事務所、京都府漁協・京都釣船協
6	H29,12,19	東京都	江東区	30	又野	東京海上保安部、運輸安全委員会	東京湾遊漁船業協同組合
7	H30,2,6	兵庫県	西宮市	23	黒川	西宮海上保安署	阪神釣船業協同組合
8	H30,2,13	山口県	下関市	24	團野	門司海上保安部	山口県
9	H30,2,15	島根県	松江市	35	團野	境海上保安部	島根県
10	H30,2,22	神奈川県	横浜市	54	黒川	運輸安全委員会	神奈川県釣船業協同組合
11	H30,2,27	新潟県	新潟市	21	黒川	新潟海上保安部	新潟県
			合計	394			

### ③派遣指導事業

当協議会の正会員団体や釣りインストラクター連絡機構が、主催または共催する釣り教室、釣り大会等の各種イベントのほか、各地の自治体及び地方公共団体や公益団体等が開催する釣り関連行事に指導員として釣りインストラクター等を派遣し指導を行った。

派遣先においてはアンケート調査を行い安全指導等の効果を確認した。

平成29年度の都府県別派遣指導状況は下記表のとおりである。

NO	実施地域	実施担当	指導員数	参加者数	備考
1	千葉県	JOFI 千葉	33	619	
2	東京都	JOFI 東京	76	944	
3	神奈川県	JOFI 神奈川	49	567	
4	石川県	石川県釣り協	17	50	
5	愛知県・三重県	JOFI 東海	190	1367	巡回・釣り相談指導含む
6	愛知県	JOFI 愛知	26	90	
7	大阪府	JOFI 大阪	110	469	巡回指導含む
8	大阪府	全関西磯釣連盟	51	254	
9	山口県	山口県釣り協	75	1113	
10	愛媛県	愛媛県釣り協	24	164	
	合計		651	5637	

全国において釣り指導員等が、遊漁者へ安全と遊漁に関する規則等遵守の指導を行い安全に対する自覚を高めるとともにルール・マナーの遵守により健全で安全な遊漁の実施に貢献できた。とりわけライフジャケット着用では、釣り場での着用者は徐々にではあるが増えてきており指導の効果が現れ始めている。

## (2)釣り指導員養成事業

### ①釣りインストラクター講習会・資格試験

本年度は、釣りインストラクター講習会・資格試験を下表の2か所にて実施した。

開催地	受講者数	受験者数	合格者数	うち登録者数
東京会場	24 名	24 名	24 名	24 名
兵庫会場	5 名	5 名	4 名	4 名
合計	29 名	29 名	28 名	28 名

## ②フィッシングマスター講習会・資格試験

本年度は、フィッシングマスター講習会・資格試験を実施しなかった。

## (3)釣り指導員研修会の開催

釣りインストラクター及びフィッシングマスター制度が始まって20数年を経過し釣り人を取り囲む状況も大きく変わった。

有資格者各個人の更なる資質の向上を図り活動を活発化させる為、『ジャパンフィッシングフェスティバル 2018』の開催期に合わせ下記の研修会を開催した。

開催日 平成30年1月20日(土)13:30~16:00

場 所 ジャパンフィッシングフェスティバル 2018 会場内「ハーバーラウンジB」

講 演 『ライフジャケット着用義務の拡大等について』

講師:水産庁資源管理部漁業調整課沿岸・遊漁室

釣り人専門官 川上 賢治氏

当日は、全国からおおよそ40名の釣りインストラクター、フィッシングマスターが参加して行われ講演後はこれからのインストラクター活動のあり方について真剣な討議がなされた。

アンケートでは「釣りインストラクター講習会・資格試験」の地方開催を切望する声が多く上がった。

## (4)遊漁船業務主任者講習会の開催

遊漁船業の適正化に関する法律(遊適法)に基づき「遊漁船業務主任者を養成するための講習」を農林水産大臣の認定をうけ、東京都(東京海洋大学)において合計3回及び兵庫県西宮市で開催し遊漁船業務主任者の養成を行った。

また、遊漁船業務主任者講習会用のテキスト等を作成し、講習受講者及び同事業を実施する都県、及び関係団体受講者に対して販売事業を行った。

## (5)正会員団体の活動及び実施事業

正会員団体である府県釣り団体協議会、広域釣り団体、釣りインストラクター連絡機構等はそれぞれの地域に於いて団体の特色を活かした釣り大会や、放流事業、環境保全等の活動を行い、釣りの技術や漁場利用ルールの周知と遵守等を指導した。行事終了後は清掃の実施など環境保全活動と共に地域住民と交流の輪を広げ成果を挙げる事ができた。その主な事業には以下のものがあり詳細は別紙資料として添付する。

### ①釣り大会

- 当協議会の正会員団体である都府県の釣り団体協議会・広域釣り団体・釣りインストラクター連絡機構等が、全国各地で釣り人を対象として初心者から熟練者に至るまであらゆるジャンルの釣り大会を行った。県や市などの地方自治体や釣り関係団体が主催で行われた各種イベントでは当協議会の会員等が釣りの指導にあたり、地域の活性化と住民への理解の向上に大きな効果をあげた。
- 環境保全と釣り技術の向上を主眼とし全国の河川・湖沼等の内水面域では釣り大会の競技と同時に釣り場の清掃も行い、運営にあたっては特定外来生物による生態系等に係る被害防止に関する法律を遵守して行われた。

## ②放流

全国の正会員団体や釣りインストラクター連絡機構等が海面、内水面の両魚種の放流を実施した。主な放流魚種は、海の釣り対象魚種では放流後の定着性が高いマダイ、クロダイ、ヒラメ、アコウ、カレイ、メバル、カサゴ等、内水面ではアユ、ヤマメ、アマゴ等の放流を行った。資源保護はもとより放流に参加した子供達に対しては自然を守ることや生命の大切さを実感して貰うことができた。

近年、海岸線の護岸化や河川改修等による魚の棲息環境の変化により魚が減少している今日の状況においては率先して放流事業を推進している。

## ③環境保全

正会員団体が、釣り大会、釣り教室等の各種イベントを実施する際は、環境にやさしい釣りを奨励し、釣り場の環境保全のためゴミ集積袋を持参し後始末の清掃を行った。

また地域の公共団体や環境団体等が行う水辺清掃がある場合には会員が率先して参加し水中ダイバーの協力で行った港の海底清掃では多量の大型ごみを回収撤去した。

## ④講演会・調査・その他

地元自治体や教育機関等との協力のもとで行われる環境の保全や調査では、水質、生物の生態等の調査、また水辺に関連する生物多様性を未来に引き継ぐためのイベントに積極的に協力した。

その際には地元の子供たちと一緒に活動し、調査結果報告会を行ったりなど地域の活性化に貢献した。

また海難防止講習会・救急救命講習会などへの参加と指導協力など、釣りを通じて得た知識経験をもとに積極的にボランティア活動を行った。

## (6)行政と釣り人を繋ぐ窓口としての取り組み

(一社)全日本釣り団体協議会は、その目的である釣りの健全な発展と漁場利用問題の解決、漁業関連法規の周知、釣り人としての権利の確保、自然環境の保全、水産資源の保護などの為に、農林水産省、水産庁その他関係諸官庁、関係団体及び、各都道府県との窓口として重要な役割を担っている。

また水産政策審議会の資源管理分科会及び企画部会、及び全国の内水面漁場管理委員会、海面利用協議会、漁場監視員、資源管理型実践漁業者協議会等へ役員等が委員として出向した。

## (7)公益的活動の社会的理解と認識向上への取り組み

広報、展示等の事業では“ジャパンフィッシングショー2018”(平成30年1月19日～1月21日)が行われた会場のパシフィコ横浜において、正会員団体及び釣りインストラクター連絡機構等が協力して、一般市民への安全で快適な釣り場でのルール・マナーの啓蒙普及を行った。

また同会場で家族・子供対象に行われた「マス釣りコーナー」では、地元の JOFI 神奈川を中心に首都圏の釣りインストラクター連絡機構が協力して指導を行った。



(8) 本部後援の釣り大会等

- 1、東京都釣魚連合会
  - ・平成29年4月13日  
第66回東京都フナ釣り選手権大会 会長賞メダル及び賞状を贈る
  - ・平成29年9月14日  
第66回東京都ハゼ釣り選手権大会 会長賞メダル及び賞状を送る
- 2、特定非営利活動法人 Sea Net 浜松
  - ・平成30年7月28日～29日  
「浜名湖スポーツフィッシングフェスタ 2018」 後援
  - ・平成32年7月25日～26日  
「ヘミングウェイカップ2020」 後援
- 3、全日本磯釣連盟神奈川県支部
  - ・平成29年7月23日  
第19回青少年・少女釣り大会(釣り講習会) 会長賞メダル及び賞状を贈る
- 4、NPO 法人日本釣り環境保全連盟
  - ・平成29年5月21日～10月7日  
釣りと環境保全を学ぶ2017 後援
- 5、愛媛県釣り団体協議会
  - ・平成29年9月1日～11月30日  
第38県民釣りまつり(魚拓釣り大会) 会長賞メダル及び賞状を贈る
- 6、国際釣友好連盟
  - ・平成29年9月13日～14日  
第12回北海道サケ釣り大会 会長賞メダル及び賞状を贈る
- 7、全関西磯釣連盟
  - ・平成29年11月5日  
第13回海難防止講習&ファミリー釣り大会 会長賞メダル及び賞状を贈る
- 8、水郷佐原観光協会
  - ・平成29年5月14日  
第58回佐原のふな釣り大会 会長賞メダル及び賞状を贈る
- 9、河北新報社 三陸河北新報社 釣り東北社
  - ・平成29年7月2日  
女川湾カレイ&アイナメ釣り大会2017 後援
- 10、(公財)京都新聞社会福祉事業団、(公財)神戸新聞厚生事業団
  - ・平成29年9月9日～10日  
みんなで海釣りー障害のある人の体験講座 会長賞メダル及び賞状を贈る
- 11、一般社団法人 大島観光協会
  - ・平成29年10月14日～15日  
第64回都民の大島磯釣大会 会長賞メダル及び賞状を贈る
- 12、奈良県釣りインストラクター連絡機構
  - ・平成29年7月15日  
第2回アメリカナマズ釣獲調査釣り大会 後援

事業報告書の附属明細書

特に記載すべき事項なし